

コンビニエンスストアチェーンでは唯一しかも 2 年連続!!
「CDP2021 サプライヤー・エンゲージメント評価 (SER) 」で
最高評価の「リーダー」獲得のお知らせ

株式会社ファミリーマート（本社：東京都港区、代表取締役社長：細見研介）は、環境に関するグローバルな情報開示システムを運営する国際的な NGO「CDP」が実施する、「CDP 2021 サプライヤー・エンゲージメント評価 (SER) 」において、コンビニエンスストアチェーンとしては唯一、最高評価である「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定されましたので、お知らせいたします。当社が同評価に選定されるのは 2 年連続となります。

サプライヤー・エンゲージメント評価 (SER) は、CDP が毎年実施している気候変動の調査の中で、「ガバナンス」「目標」「スコープ 3 排出量」「サプライヤーエンゲージメント」を評価対象とするものです。サプライヤーとの協働によるサプライチェーン全体での気候変動に対する取り組みが評価されます。

当社は、環境の中長期目標である「ファミマ eco ビジョン 2050」に基づいた取り組みを実施するだけでなく、「Science Based Targets (SBT) イニシアチブ」(※) により認定された温室効果ガス削減目標に基づき、サプライチェーン全体での温室効果ガス削減を推進しております。これらの活動が総合的に評価されて、コンビニエンスストアチェーンとして唯一、最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定されたものと考えております。

なお、2021 年の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」選出企業は、評価対象の上位 8%にあたる約 500 社（うち日本企業は 105 社）となっております。



(※) 「Science Based Targets (SBT) イニシアチブ」とは、

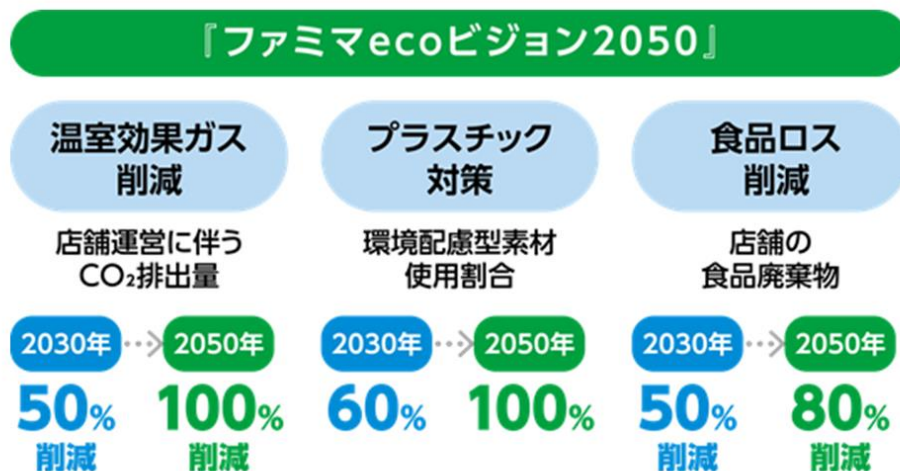
国際的な NGO の CDP、国連グローバル・コンパクト、WRI（世界資源研究所）、WFF（世界自然保護基金）による共同イニシアチブで、気候変動による世界の平均気温上昇を、産業革命前と比べ、最大でも 2 度未満に抑えるというパリ協定の目標に向けて、科学的根拠に基づいた温室効果ガス削減目標 (SBT) の設定を推進する取り組みです。当社は 2020 年に、コンビニエンスストアチェーンとしては初めて、温室効果ガス削減目標が「Science Based Targets (SBT) イニシアチブ」に認定されております。

●当社の「Science Based Targets (SBT) イニシアチブ」認定について（2020 年 3 月）

https://www.family.co.jp/company/news_releases/2020/20200331_03.html

【参考資料】

◆ファミマ eco ビジョン 2050 について



1. 温室効果ガスの削減：店舗運営に伴う CO₂ 排出量（1 店舗当たり）

・省エネ型機器の導入により、店舗の電気使用量を抑制し、CO₂ 排出の削減を進めます。

【数値目標】 2030 年 50%削減、2050 年 100%削減（2013 年対比）

※2030 年 40%削減としていた目標を 50%削減へと上方修正しております。

2. プラスチック対策：オリジナル商品の環境配慮型包材・容器の使用割合

・容器・包材に植物を原料にしたバイオマスプラスチックや再生 PET を配合するなど、環境配慮型素材の使用を進めます。

【数値目標】 2030 年 60%、2050 年 100%

尚、レジ袋等の用度品を含めた環境配慮型素材割合は 2030 年度までに 70%の水準を目指します。

3. 食品ロスの削減

・商品の発注精度の向上や容器包装の改良等によるロングライフ化を進めることで、食品ロスの削減を推進します。尚、発生した食品廃棄物は、食品リサイクルループなどの取り組みにより資源の有効活用につなげてまいります。

【数値目標】 2030 年 50%削減、2050 年 80%削減（2018 年対比）

ファミリーマートは、昨年創立 40 周年を迎えました。これからも「あなたと、コンビニ、ファミリーマート」のもと、地域に寄り添い、お客さま一人ひとりと家族のようにつながりながら、便利の先にある、なくてはならない場所を目指してまいります。

【ファミリーマート 40 周年は「40 のいいこと!？」】

https://www.family.co.jp/campaign/spot/2021_40th.html

以上